

## 個性派企業の追求～社会貢献企業実現のために

---

# 昭和電工株式会社

## 2008年12月期 中間決算説明資料

2008年8月8日

取締役 常務執行役員 CFO

野村 一郎



決算発表日 2008年8月7日

本資料は発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

# 連結対象会社

## ■ 連結子会社 41社

### ■ 新規連結 +4社

- 昭和炭酸(株) (持分法適用→連結子会社、化学品セグメント)
- 昭炭商事(株) (持分法適用→連結子会社、化学品セグメント)  
ガンシュウ
- 贛州昭日稀土新材料有限公司  
(非連結子会社→連結子会社、電子・情報セグメント)
- 昭光通商保険サービス(株) (非連結子会社→連結子会社、アルミニウム他)

### ■ 連結除外 △1社

- 国際衛生(株) (売却、化学品セグメント)

## ■ 持分法適用会社 20社

### ■ 持分法除外 △2社

- 昭和炭酸(株) (持分法適用→連結子会社、化学品セグメント)
- 昭炭商事(株) (持分法適用→連結子会社、化学品セグメント)

注. 増減は前期末対比

## 主要諸元

	2007年1-6月	2008年1-6月	増減
■ 為替レート (円/US\$)	120.2	104.9	15.3円高
■ 国産ナフサ (円/KL)	53,300	68,800	+15,500
■ アルミ LME (US\$/T)	2,773	2,887	+114

※07年12月31日期末レート114.2円  
⇒ 7.8円円高

08年6月30日期末レート106.4円

## 連結業績の概要

(億円)

	2007年1-6月	2008年1-6月	増減	伸率
売上高	4,851	5,108	257	5.3%
営業利益	350	246	△103	△29.5%
[売上高営業利益率]	7.2%	4.8%	△2.4 <sup>°</sup> ｲﾝﾄ	
営業外損益	△79	△66	13	
内、金融収支	△31	△29	2	
内、持分法損益	14	2	△11	
内、為替差損益	8	△31	△39	
内、新工場立ち上げ費用	△35	—	35	
経常利益	271	180	△90	△33.4%
特別利益	30	43	13	
特別損失	△45	△46	△0	
税金等調整前中間純利益	256	178	△77	
法人税等	△94	△57	37	
少数株主損益	△11	△3	7	
中間純利益	151	117	△33	△22.2%

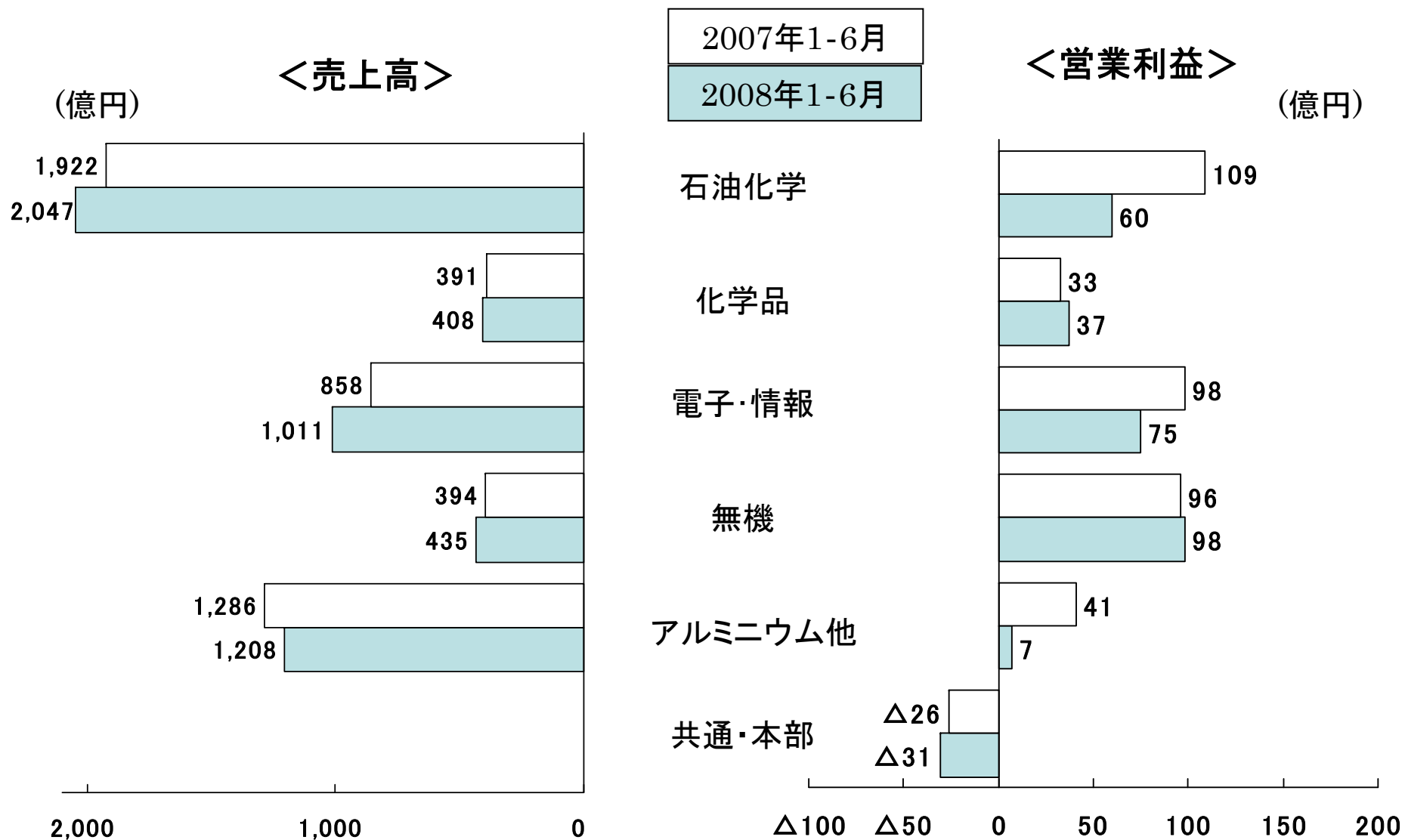
※2008年1-6月 税制改正による償却費増加額25億円

## 特別損益の内訳

(億円)

	2007年1-6月	2008年1-6月	増減
<b>■特別利益</b>	30	43	13
●投資有価証券売却益	12	18	6
●固定資産売却益	4	7	3
●その他	14	19	5
<b>■特別損失</b>	△45	△46	△0
●固定資産除却損及び売却損	△27	△24	3
●減損損失	△4	—	4
●その他	△14	△22	△7
<b>■特別損益</b>	△15	△2	13

# セグメント別業績の概要



# 連結売上高差異内訳

(億円)

	2007年 1-6月	2008年 1-6月	増減	項目
石油化学	1,922	2,047	125	オレフィン: 価格上昇 有機: 酢酸等数量減
化学品	391	408	16	AN、クロロプレングム: 数量・価格共に堅調 アンモニア: 価格上昇 工業ガス、アミノ酸類、農薬中間体: 数量増
電子・情報	858	1,011	153	HD: 生産能力増強により数量増 化合物半導体: 超高輝度LED素子の販売開始もあり増収 特殊ガス: 前年同期並み レアアース: 数量増、価格上昇により増収
無機	394	435	41	セラミックス: 小幅増収 カーボン: 増収(特に輸出堅調)
アルミニウム 他	1,286	1,208	△78	アルミ地金: 数量減 圧延品: 一般箔から撤退(前期)による数量減で減収 高純度箔は堅調 押出・機能材: 一般押出品が建築市場低迷で数量減 熱交換器: 前年同期並み(米国減収、国内前年同期 並み、欧州増収) ショウティック、アルミ缶: 数量減で減収
合計	4,851	5,108	257	

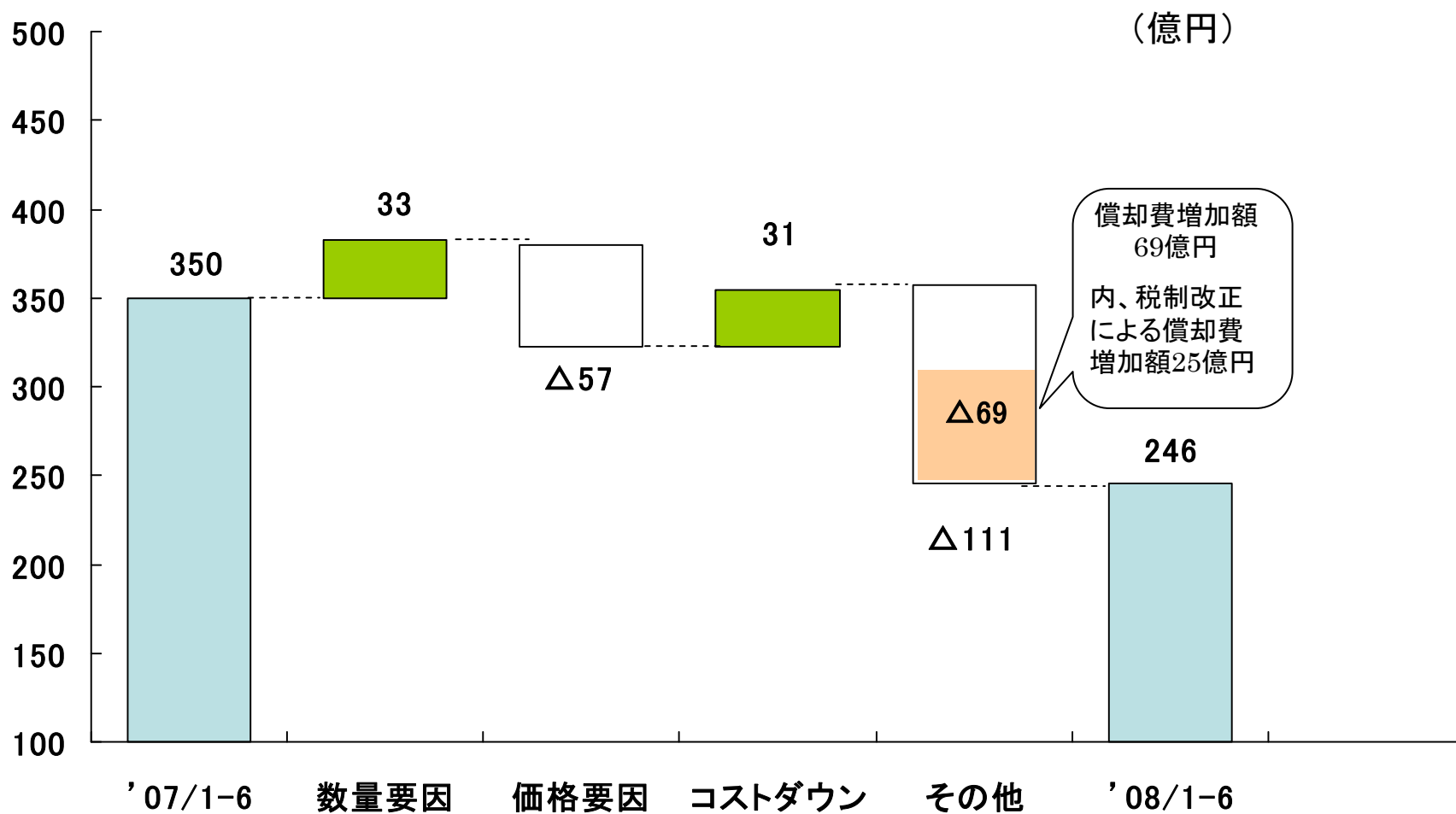
# 連結営業利益差異内訳

(億円)

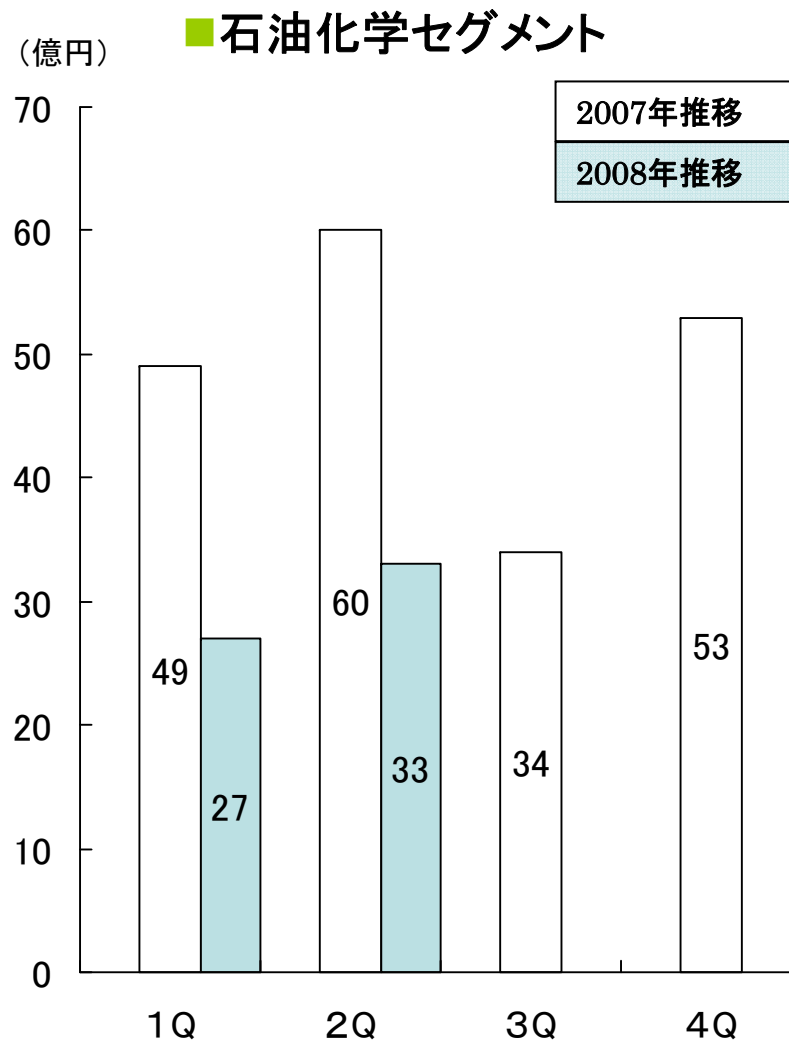
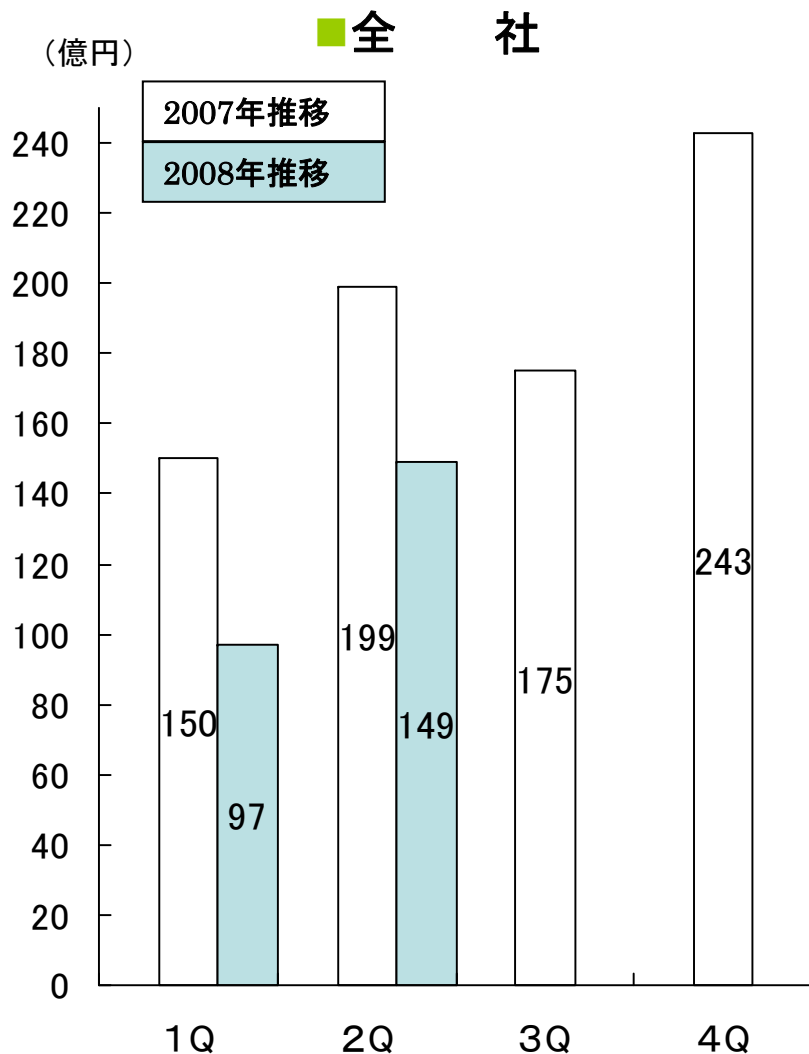
	2007年 1-6月	2008年 1-6月	増減	項目
石油化学	109	60	△49	オレフィン:輸出の採算悪化(誘導品定修) 有機:酢酸がメタノール価格高騰・市況低迷
化学品	33	37	4	苛性ソーダ:価格上昇 アミノ酸、農薬中間体:数量増 AN、クロロプレンゴム:前年同期並み
電子・情報	98	75	△23	HD:数量増だが能力増強による償却費増、円高 化合物半導体:汎用LEDの数量減、超高輝度LED開 発費増加 特殊ガス:円高(半導体向け輸出) レアアース:数量・価格共に堅調
無機	96	98	3	セラミックス:原燃料価格高騰により減益 カーボン:電極が輸出堅調
アルミニウム 他	41	7	△34	圧延品:コンデンサー用高純度箔が数量増で増益 押出品:一般押出品が数量減、燃料アップで減益 ショウティック、熱交換器:自動車向け数量減 卸電力事業:燃料価格高騰の転嫁にタイムラグ アルミ缶:数量減
共通・本部	△26	△31	△4	
合計	350	246	△103	



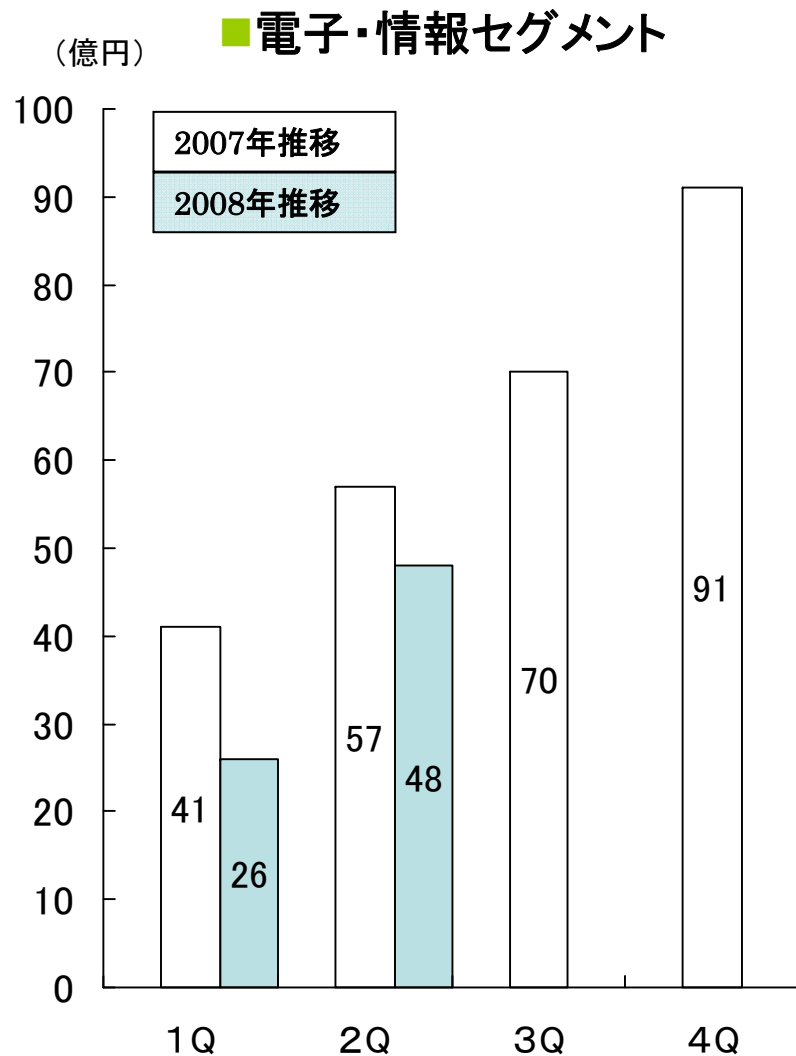
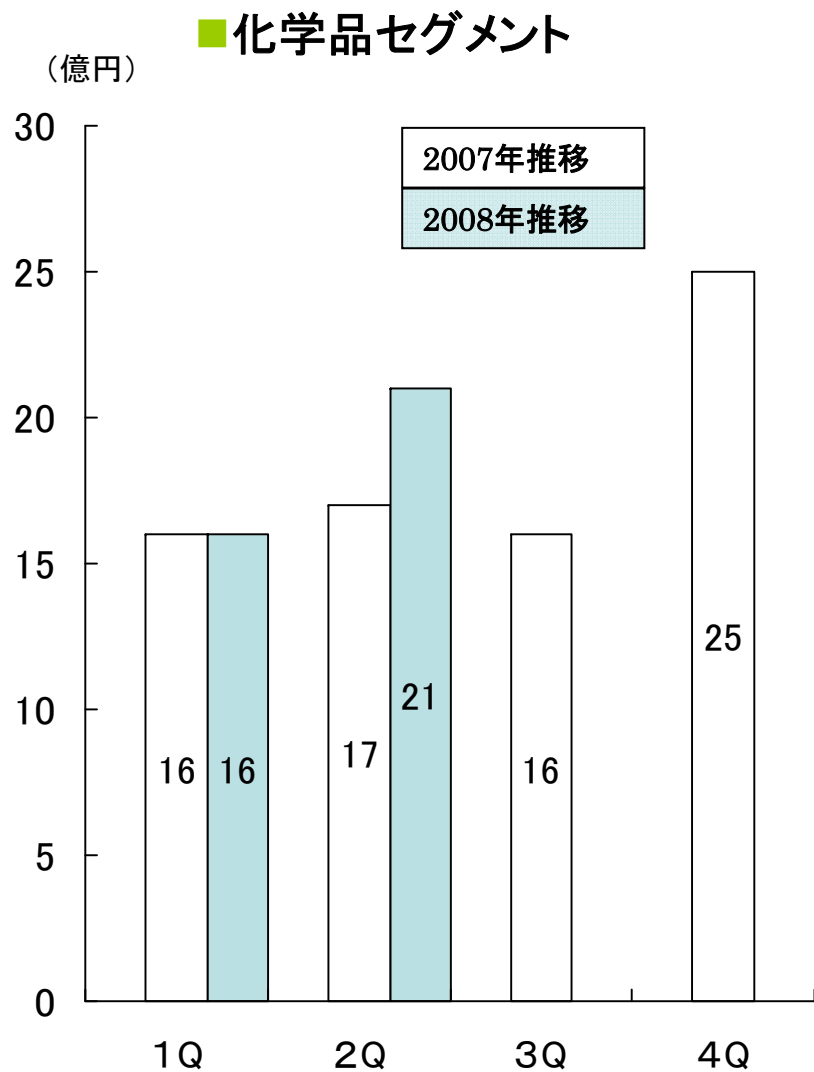
# 連結営業利益差異内訳



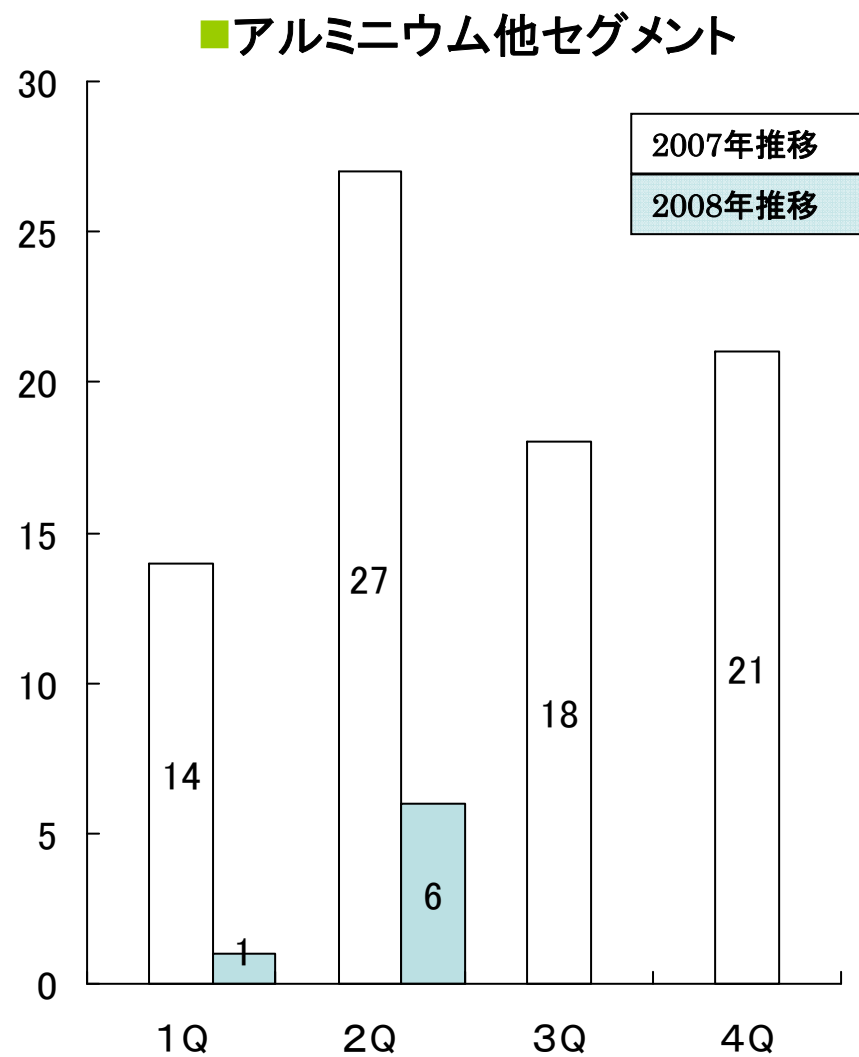
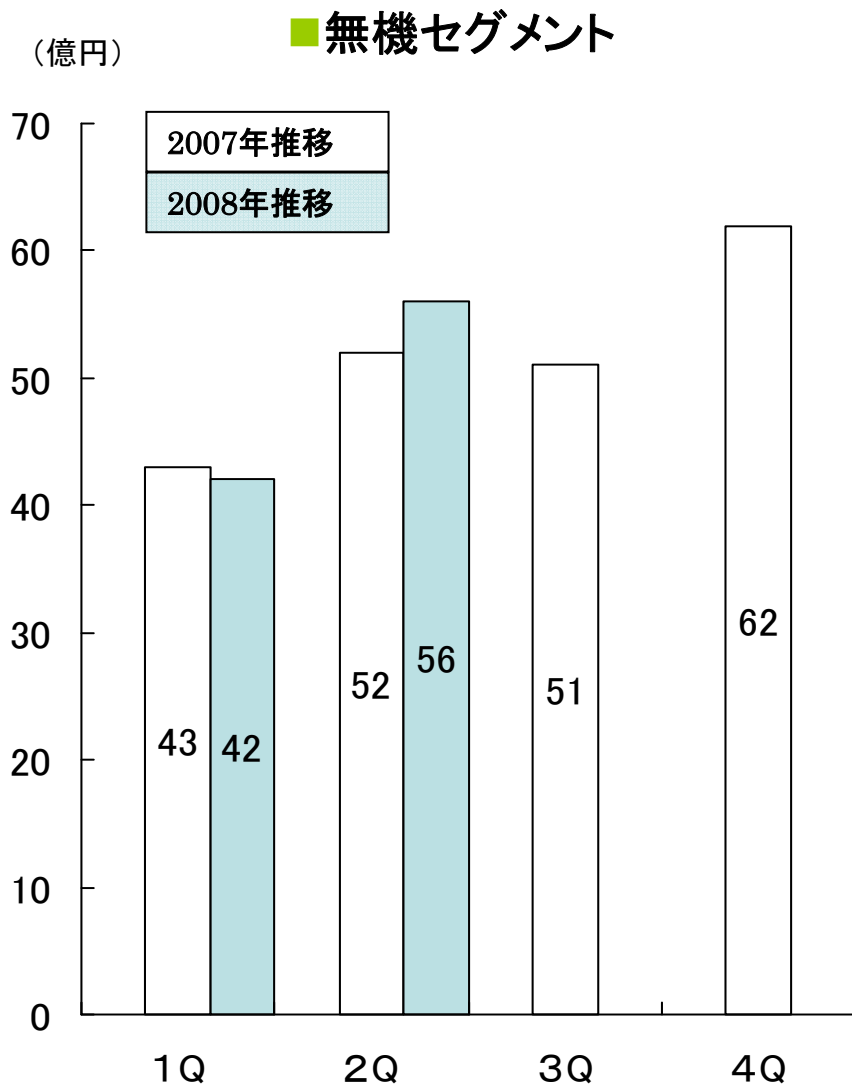
# セグメント別連結営業利益推移



# セグメント別連結営業利益推移



# セグメント別連結営業利益推移



## 連結貸借対照表

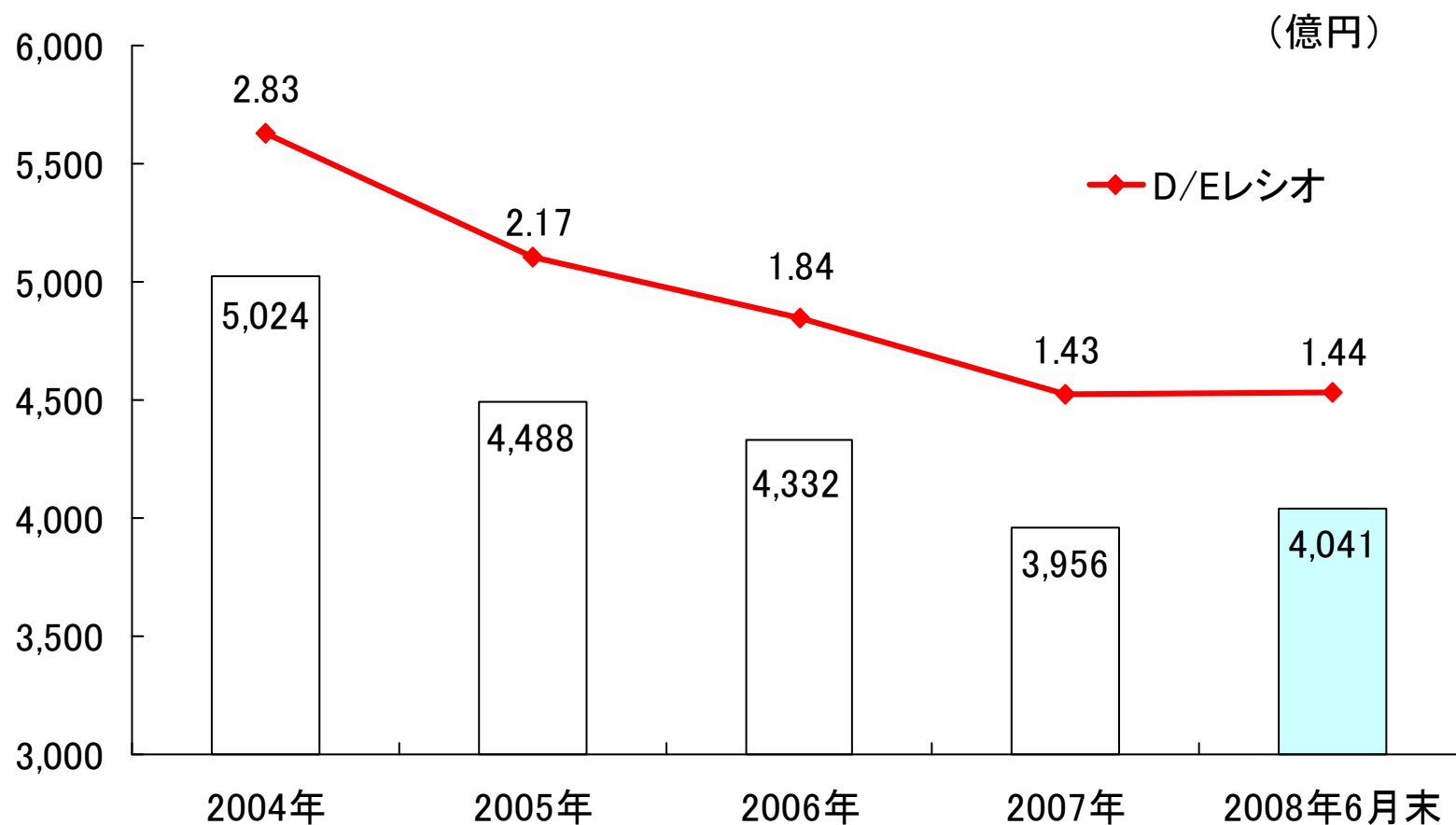
(億円)

資産	2007年 12月末	2008年 6月末	増減	負債・純資産	2007年 12月末	2008年 6月末	増減
現預金	319	219	△100	営業債務	1,686	1,454	△232
営業債権	1,776	1,662	△114	有利子負債	3,956	4,041	84
たな卸資産	1,093	1,237	143	再評価に係る繰延税金負債	465	471	5
繰延税金資産	32	23	△10	退職給付引当金	312	301	△11
その他	263	298	35	その他	890	835	△55
<b>流動資産計</b>	<b>3,484</b>	<b>3,438</b>	<b>△46</b>	<b>負債計</b>	<b>7,310</b>	<b>7,101</b>	<b>△209</b>
建物・構築物	1,011	1,002	△10	資本金	1,219	1,219	—
機械装置・運搬具	1,692	1,657	△35	資本剰余金	379	380	1
土地	2,606	2,600	△6	利益剰余金	759	813	55
他有形固定資産	284	287	3	自己株式	△2	△2	0
<b>有形固定資産計</b>	<b>5,593</b>	<b>5,546</b>	<b>△47</b>	<b>株主資本計</b>	<b>2,355</b>	<b>2,410</b>	<b>55</b>
無形固定資産	151	144	△7	その他有価証券評価差額金	161	141	△20
投資その他の資産	1,068	1,040	△29	繰延ヘッジ損益・為替換算調整勘定	22	23	1
(内、投資有価証券)	868	835	△33	土地再評価差額金	237	234	△2
(内、繰延税金資産)	75	82	7	評価・換算差額等計	419	398	△21
				少数株主持分	213	259	46
<b>固定資産計</b>	<b>6,813</b>	<b>6,730</b>	<b>△83</b>	<b>純資産計</b>	<b>2,987</b>	<b>3,066</b>	<b>80</b>
<b>資産合計</b>	<b>10,296</b>	<b>10,167</b>	<b>△129</b>	<b>負債純資産合計</b>	<b>10,296</b>	<b>10,167</b>	<b>△129</b>

## 総資産・有利子負債・D/Eレシオ・自己資本比率

	2007年末	2008年中間末	増減
■ 総資産	10,296億円	10,167億円	129億円減
■ 有利子負債	3,956億円	4,041億円	84億円増
■ D/Eレシオ	1.43倍	1.44倍	0.01p増
■ 自己資本比率	26.9%	27.6%	0.7p増

# 連結有利子負債の推移



自己資本比率	18.8%	21.0%	22.7%	26.9%	27.6%
--------	-------	-------	-------	-------	-------

## 連結キャッシュフロー

(億円)

	2007年 1-6月	2008年 1-6月	増減
●営業CF	201	125	△75
●投資CF	△325	△244	82
●フリー・キャッシュ・フロー	△125	△119	6
●財務CF	△141	17	158
●その他	6	1	△5
現預金増減額	△260	△100	160



## 金融収支・設備投資・人員等(連結)

(億円)

	2007年 1-6月	2008年 1-6月	増減
●金融収支	△31	△29	2
●設備投資	428	259	△169
●減価償却費	224	293	※69
●研究開発費	94	93	△1
●期末従業員(人)	11,321	11,893	572
●総人件費	371	381	10

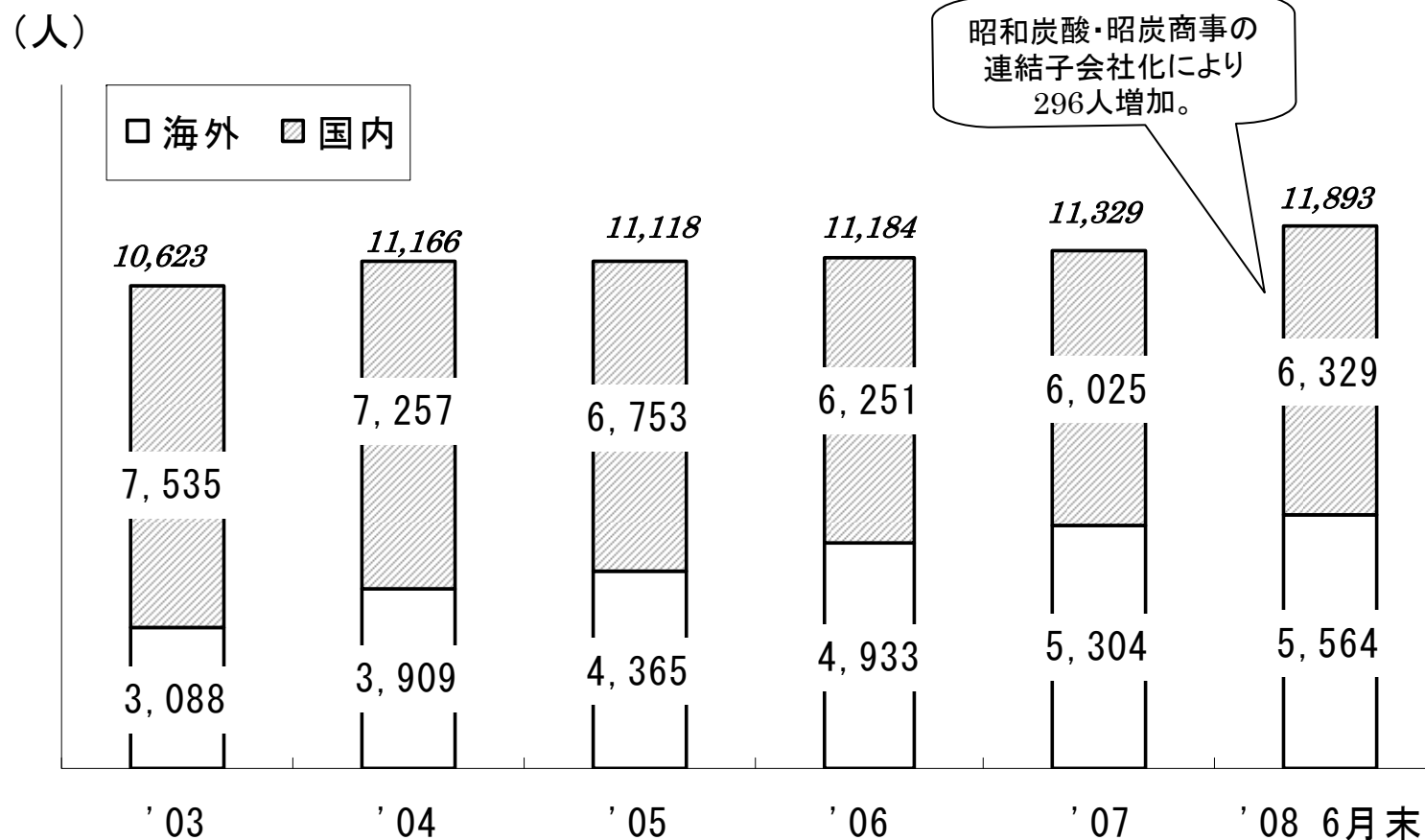
※内、償却制度の変更による影響25億円。

# セグメント別設備投資・減価償却

(億円)

	2007年(1-6月)		2008年(1-6月)		増減		内、1-6月 税制改正 による 償却費 増加額
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	
石油化学	31	29	45	33	13	4	6
化学品	25	25	29	31	4	6	5
電子・情報	303	115	124	166	△179	51	4
無機	19	13	13	15	△7	2	3
アルミニウム他	51	43	49	48	△1	6	7
全社計	428	224	259	293	△169	69	25

# 連結総人員の推移と国内海外人員割合



国内割合	70.9%	65.0%	60.7%	55.9%	53.2%	53.2%
海外割合	29.1%	35.0%	39.3%	44.1%	46.8%	46.8%

## 2008年通期業績予想

(億円)

	2008年予想 2月7日公表	2008年予想 8月7日公表	増減	2007年 実績
売上高	11,100	11,200	100	10,232
営業利益	790	590	△200	767
金融収支	△84	△67	17	△68
経常利益	635	465	△170	600
特別損益	△75	△17	58	△37
当期純利益	355	280	△75	331
1株当たり当期純利益	28円45銭	22円44銭	△6円1銭	27円52銭
1株当たり配当金	6円	6円	—	5円

※2008年通期の税制改正による償却費増加額54億円

## セグメント別売上高予想(連結)

(億円)

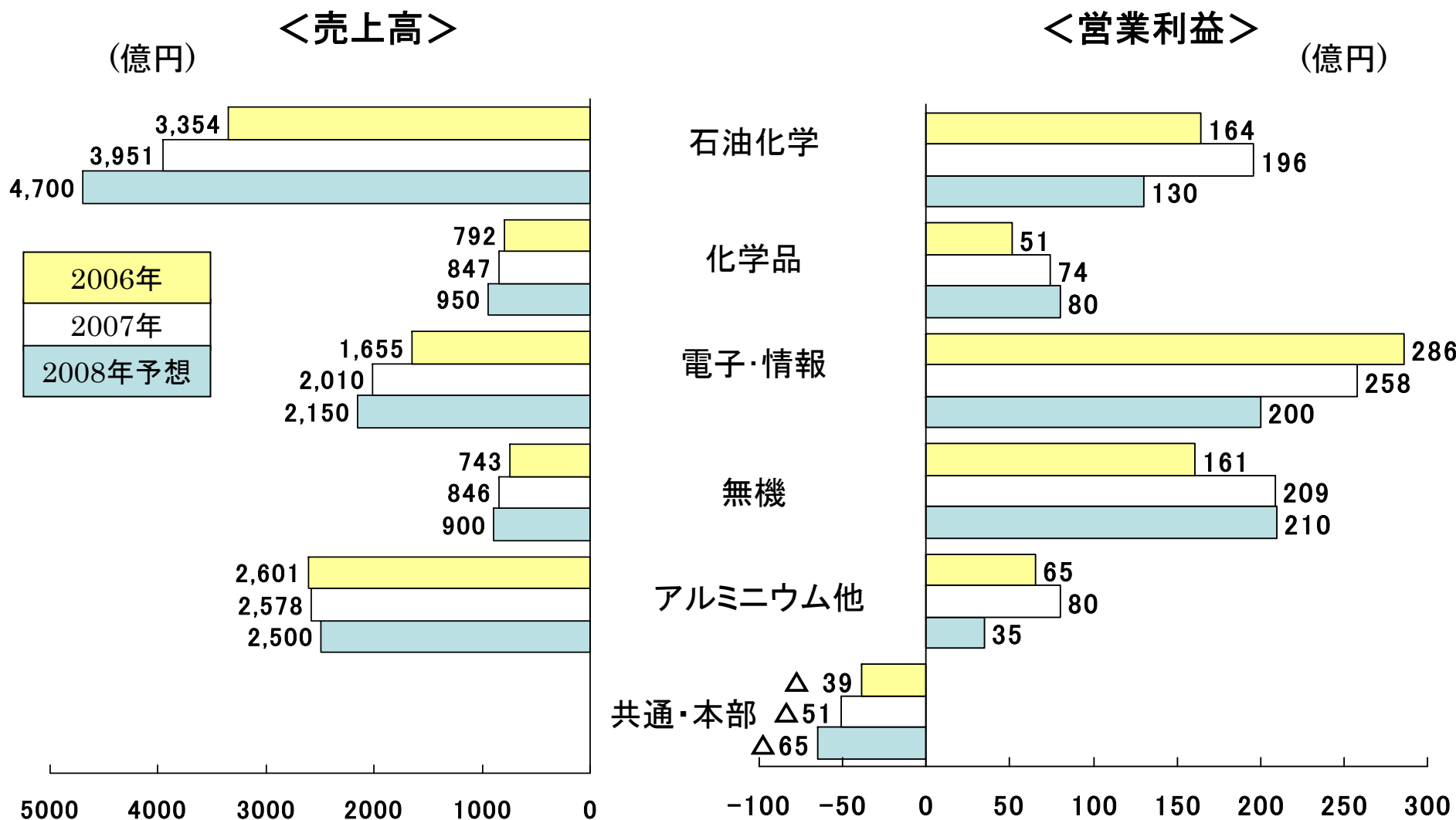
	2008年予想 2月7日公表	2008年予想 8月7日公表	増減	2007年 実績
石油化学	4,200	4,700	500	3,951
化学品	850	950	100	847
電子・情報	2,650	2,150	△500	2,010
無機	850	900	50	846
アルミニウム他	2,550	2,500	△50	2,578
合計	11,100	11,200	100	10,232

## セグメント別営業利益予想(連結)

(億円)

	2008年予想 2月7日公表	2008年予想 8月7日公表	増減	2007年 実績
石油化学	150	130	△20	196
化学品	75	80	5	74
電子・情報	330	200	△130	258
無機	210	210	0	209
アルミニウム他	85	35	△50	80
共通・本部	△60	△65	△5	△51
合計	790	590	△200	767

# セグメント別業績予想の概要



## 予想諸元

	2008/1-6	2008/7-12 (今回修正)	差異	年初予想
●為替レート(円/US\$)	105	105	0	110
●国産ナフサ(円/KL)	68,800	85,800	+17,000	63,000
●アルミLME(US\$/T)	2,887	2,600	△287	2,600

(億円)

	2007年	2008年予想	差異	年初予想
●有利子負債	3,956	4,000	44	4,000
●金融収支	△68	△67	1	△84
●研究開発費	174	208	34	211
●期末従業員(人)	11,329	11,933	604	11,551
●総人件費	742	780	38	765



# セグメント別設備投資・減価償却予想

(億円)

	2007年		2008年予想		増減		年初予想		税制改正による 償却費 増加額
	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	設備投資	減価償却	
石油化学	56	57	62	64	6	7	44	68	13
化学品	51	50	90	69	40	19	94	66	10
電子・情報	444	277	330	350	△114	73	519	374	10
無機	37	28	35	32	△3	4	43	34	6
アルミニウム他	106	86	120	103	14	17	122	113	14
全社計	693	498	637	619	△57	122	822	656	54

# 【単独】損益計算書

(億円)

	2007年1-6月	2008年1-6月	増減	伸率	2008年予想
売上高	3,367	3,602	235	7.0%	7,950
営業利益	217	171	△46	△21.2%	390
金融収支	15	8	△7		
経常利益	205	153	△52	△25.5%	330
特別利益	26	40	14		
うち、投資有価証券売却益	11	15	4		
貸倒引当金戻入額	3	1	△2		
特別損失	△69	△56	13		
うち、固定資産除却・売却損	△18	△22	△4		
関係会社株式評価損	△40	△8	32		
貸倒引当金繰入額	—	△2	△2		
特別退職金	△1	△1	0		
特別損益	△43	△16	27		
税引前中間純利益	162	136	△26		
法人税等	△57	△35	22		
中間(当期)純利益	105	101	△4	△3.6%	225

# 【単独】貸借対照表

(億円)

資産	07/12末	08/6末	増減	負債・純資産	07/12末	08/6末	増減
現預金	117	64	△54	営業債務	1,019	827	△193
営業債権	1,233	1,030	△203	有利子負債	3,321	3,391	70
たな卸資産	627	730	103	構造改善費用等引当金	3	1	△2
繰延税金資産	20	6	△14	再評価に係る繰延税金負債	465	465	—
その他	369	357	△12	退職給付引当金	293	278	△14
流動資産計	2,367	2,187	△180	その他	985	851	△133
建物・構築物	597	592	△5	負債計	6,085	5,813	△272
機械装置	995	977	△18	資本金	1,219	1,219	—
土地	2,402	2,381	△21	資本剰余金	379	379	0
他有形固定資産	189	189	0	利益剰余金	537	575	39
有形固定資産計	4,183	4,139	△44	自己株式	△2	△2	△0
無形固定資産	88	90	3	株主資本計	2,133	2,172	39
投資その他の資産	1,957	1,945	△12	その他有価証券評価差額金	137	118	△19
うち投資有価証券・ 関係会社株式・出資金等	1,827	1,794	△33	繰延ヘッジ損益	4	22	18
うち繰延税金資産	68	72	4	土地再評価差額金	237	237	-
				評価・換算差額等計	378	377	△1
固定資産計	6,228	6,174	△54	純資産計	2,510	2,549	38
資産合計	8,595	8,361	△234	負債純資産合計	8,595	8,361	△234

## 【単独】部門別売上高比較

(億円)

	2007年 1-6月	2008年 1-6月	増減	伸率
石油化学	1,417	1,617	199	14.0%
オレフィン	1,027	1,241	214	20.8%
有機化学	391	376	△15	△3.8%
化学品	327	365	38	11.5%
電子・情報	506	559	53	10.4%
HD・半導体	321	343	22	6.9%
電子関連材料	186	217	31	16.6%
無機	262	294	32	12.2%
セラミックス	120	126	5	4.2%
カーボン	141	168	27	19.1%
アルミニウム他	855	768	△87	△10.1%
全社	3,367	3,602	235	7.0%

## 【单独】営業利益比較

(億円)

	2007年 1-6月	2008年 1-6月	増減	伸率
石油化学	94	51	△43	△46.1%
化学品	31	33	2	6.5%
電子・情報	38	58	20	51.1%
無機	54	57	3	6.1%
アルミニウム他	28	3	△25	△90.7%
共通・本部	△28	△30	△2	△8.1%
全社	217	171	△46	△21.2%

## セグメント別トピックス

### ■石油化学セグメント

- 大分コンビナート アリルアルコール生産能力増強完了
  - ◆大分において進めてきたアリルアルコールの能力増強工事を本年5月に完工させ、生産能力を年産5万6,000トンから7万トンへ。アリルアルコールは、香料や医薬中間体、眼鏡レンズ等に使用されるアリルエステル樹脂の原料として使用。

### ■化学品セグメント

- 国際衛生(株)の株式譲渡
  - ◆本年3月に子会社であった国際衛生(株)の株式の90%を岩谷産業(株)に譲渡。

## セグメント別トピックス

### ■化学セグメント

- 温室効果ガス分解処理設備の設置を決定
  - ◆ 本年6月に川崎製造所に温室効果ガス分解処理設備の設置を決定。設備の運転開始は2009年3月を予定。これにより、当社グループは、京都議定書の目標である温室効果ガス6%削減を排出権を購入することなく自力で達成する。
  
- 昭和炭酸(株)株式に対する公開買付
  - ◆ 当社は、持分法適用関連会社であった昭和炭酸(株)株式を公開買付けにより追加取得し、本年6月に連結子会社化。
  
- クロロプレンゴム「ショウプレン<sup>®</sup>」の生産能力増強
  - ◆ 当社は、川崎製造所において、クロロプレンゴム「ショウプレン<sup>®</sup>」の生産能力を年2万トンから2万3,000トンへ拡大する工事を開始し、9月に完工の予定。

# セグメント別トピックス

## ■電子・情報セグメント

### ●世界初の1.3インチハードディスクの量産開始

- ◆本年1月より、1.3インチハードディスクの量産を開始。40ギガバイト/枚の記録容量は世界最大<sup>(注)</sup>。今回の大記録容量1.3インチハードディスクによりHDDの軽量化や省電力性・耐衝撃性の向上に寄与。

(注):世界最大:本年7月末現在、当社推定

### ●世界トップ80 lm/W超高輝度4元系赤色LED素子を製品化

- ◆本年5月に世界トップ<sup>(注1)</sup>の発光効率<sup>(注2)</sup>を有する超高輝度4元系赤色LED素子の開発に成功し、販売を開始。超高輝度4元系LEDは、現在、屋外ディスプレイなどを使用されているが、新たにリアランプや車内照明等の自動車向け、さらには薄型テレビの液晶バックライト向け等への用途開発も進んでいる。

(注1)世界トップ:本年5月現在、当社推定

(注2)1ワット当り80ルーメン、当社従来最高輝度品対比で40%の向上



## セグメント別トピックス

### ■無機セグメント

- 人造黒鉛電極 日米2拠点で10万5,000トン体制を確立
  - ◆当社グループの電極事業は、日米2拠点体制による効率的な生産・物流体制を有し、32インチの世界最大口径電極の量産化を実現するなど高い技術開発力を持つ。米国子会社である昭和電工カーボン社においては、段階的にボトルネックの解消による増強を進め、生産能力を5,000トン拡大して年4万5,000トンとした。これにより日米2拠点合計で年10万5,000トン体制を確立。

### ■アルミニウム他セグメント

- アルミ電解コンデンサー箔向け高純度アルミ塊新精製炉を竣工
  - ◆アルミ電解コンデンサー向け高純度アルミ箔の製造子会社である昭和電工堺アルミ(株)において、原料となる高純度アルミ塊の新精製炉が本年1月に竣工。これにともないアルミ電解コンデンサー用高純度アルミ箔の生産能力を月産1,500トンから1,800トン超へ増強。当社は、高純度アルミ箔において、国内および世界市場で最大のシェアを持つトップメーカー。

## セグメント別トピックス

### ■アルミニウム他セグメント

- 地球にやさしいペットボトルリサイクルによる住宅用パイプ 分譲マンションに初採用
  - ◆当社の子会社昭和電工建材(株)が販売するペットボトルリサイクルによる住宅用排水・通気・換気パイプ「ショウワエコパイプ®」が、初めて分譲マンションに採用。「ショウワエコパイプ®」は一般の硬質塩化ビニルパイプと比べて、製造時の投入エネルギー量が約3分の1と少なく、二酸化炭素排出量の抑制に寄与。
- 小山事業所 アルミニウム鑄造工場新溶解炉を導入
  - ◆小山事業所にて進めていたアルミニウム鑄造工場の近代化工事を本年6月に竣工。溶解鑄造設備などの更新により、高度化するお客様からの品質要求に積極的にお応えする体制を整備。新鑄造設備の生産能力は年6万トン。